

西陵中学校区 小中一貫教育校創設協議会だより

第11号（令和5年2月発行）

※竹の里・福西両自治連合会、2校学校運営協議会、PTAの各代表、2校校長で組織する「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」が発行し、両地域の各家庭に配布しています。

◆第11回 「小中一貫教育校創設協議会」を開催

～小中一貫教育校の地元校名案を「洛西陵明」に選定～

1月30日（月）に新型コロナウイルス感染症対策のうえ、「第11回西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」を西陵中学校において開催しました。

協議会では、令和7年度開校予定の小中一貫教育校の校名案について協議し、「**洛西陵明**」を地元校名案として最終選定するとともに、施設整備に関する進捗状況や通学安全対策に関する報告がありました。

地元校名案の選定について

小中一貫教育校の校名について、地域・保護者の皆様や竹の里小学校・西陵中学校の児童・生徒・教職員からご応募いただいた804点の新校の地元校名案について、創設協議会で検討を重ね、前号（令和4年12月発行）の創設協議会だよりで37点の選定案をお知らせしました。

その後、より幅広い観点から検討するため、京都市の国語教育の専門家から意見をお聞きし、その意見を踏まえて、創設協議会で慎重に議論・検討を行いました。「洛西地域の学校と分かりやすい」、「西陵の「陵」の字が入っているのが良い」「難しい漢字は使用しない方が良い」などの意見が出され、最終候補に残った6案（※）の中から「**洛西陵明（らくさいりょうめい）**」を地元校名案として選定しました。

（※）最終候補6案：洛西陵明、洛西栄陵、洛西修徳、洛西新稜、洛西竹稜、洛西玲陵

この地元校名案が小中一貫教育校の校名となるよう、3月上旬に創設協議会から教育委員会へ校名要望書を提出します。その後、小中一貫教育校設置に係る市会での審議・議決を経て、正式に決定される予定です。

小中一貫教育校の施設整備について

教育委員会から、元福西小学校の解体工事が予定どおり順調に進んでいることが報告されました。また、小中一貫教育校の新校舎建設工事に関して、入札手続き等を経て決定した施工業者の候補と仮契約を締結したとのこと。今後は、2月16日（木）開会の2月市会に契約議案を提案し、審議のうえ議決されれば正式契約を締結し、5月から着工する予定であることが報告されました。

本統合時の通学安全対策について

竹の里地域から小中一貫教育校への通学路となる遊歩道について、竹の里地域自治連合会のご尽力により、防犯カメラを6箇所を設置していただきました。これを踏まえて、福西地域から竹の里小学校への通学路とすることをPTAで検討されていることが、学校から報告されました。

ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

■竹の里小 TEL 332-3745 FAX 332-3746
e-mail:takenosato-s@edu.city.kyoto.jp

■西陵中 TEL 332-0671 FAX 332-0672
e-mail:seiryo-c@edu.city.kyoto.jp